

# 修了生の感想

建築設計科 建築CADコース

Y・Jさん



国立職業リハビリテーションセンターに応募したのは、支援者の勧めがあったのでした。

当時専門的な職種に就きたいと考えていた私は、学生時代に諦めた建築関係の勉強をもう一度行いたいと思い、建築設計科を選択しました。

入所してからはプロの先生からの講義や個人では触ることのできない建築CADなど、日々専門的な内容に触れていきました。自分の興味のある分野を学ぶことはとても楽しく、毎日新しい発見がありました。途中分からないことがあった時も、気軽に質問することが出来ました。少しずつ知識を蓄えながら、私の中で就職への意識を高めていくことが出来ました。

特に自分のスキルアップに繋がったものは月に1度の発表会です。私は入所当初PCスキルにやや自信がなく、また人前で話すのを苦手とし、積極的に発言するのを躊躇っていました。発表会では専門用語をいくつか選び、自分で調べ、資料にまとめ、自分の口で説明するという内容でしたが、まさに私が苦手とすることを克服するためにぴったりの授業でした。毎月の発表を続けていくうちに、PC操作にも慣れ、自信が付いていくのを実感できるようになりました。

また、私にとって良かったものは環境です。一人でいると悪い方向に考えがちになるものです。毎日規則正しい時間に起床し、職リハまで通い、メンバーと顔を合わせて挨拶する、これだけで随分前向きな思考になりました。諦めずに何かを続けることというのは大変な事ですが、私は職リハに通い続けることで就職活動や卒業制作に熱心に取り組むことが出来、無事に卒業、就職への道を掴むことが出来ました。

入所してからは1年という長い期間があります。私は当時、年齢から来る焦りから早く正規の職に就かないとという観念に囚われていました。しかし支援者の勧めで回り道を選ぶことで、今のような良い環境の職場に巡り合うことが出来ました。職リハで1年間じっくりスキルを磨き上げることを選択して本当に良かったと感じています。